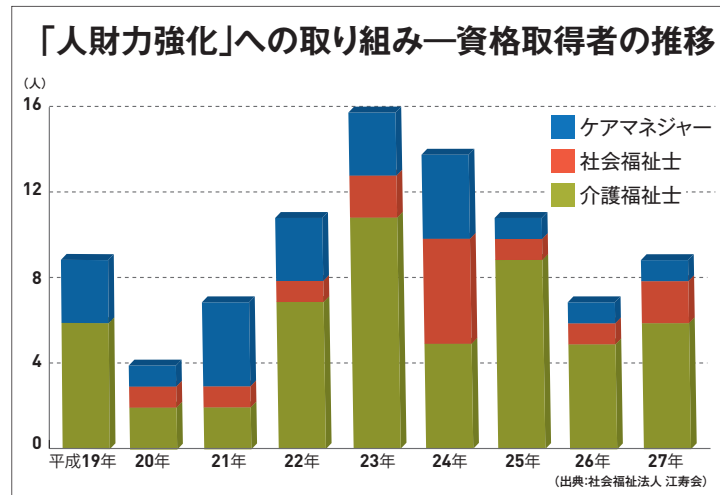


「設立当初は、涙の物語だったんですよ」
 来栖氏がそう語る通り、特別養護老人ホーム「アゼリー江戸川」を設立した1999年は、採用した職員約50人のうち48人が1年で辞めた。試行錯誤の末、人材が定着し始めたのは5年目、採用の中心を経験者から新卒者に転換して以降だ。しかも福祉系の専門学校に限らず、福祉とは無関係な学部所属の大卒者も積極的に採用した。「ポイント」は、思いがある人。心からこの仕事がやりたいという優しい心を持った人です。それとどの分野でも一番になったり、過去に何事かを成し遂げたエネルギーのある人を採用しました」

「人間は環境の動物。放置すると萎縮し、能力が閉じるから常に刺激が必要」との観点から、採用した人材に磨きをかける

介護業界の現在



アゼリーグループ理事長、医学博士 来栖 宏二(くるす・こうじ)氏
 日本医科大学卒業。99年、特別養護老人ホーム「アゼリー江戸川」を開設。リハビリテーション専門学校、保育園等も開設。関東圏に多数の介護施設などを運営。日本リハビリテーション医学会専門医。

介護業界の常識は世間の非常識
 職員同士が啓発し合う仕掛けも用意する。毎週月曜日朝7時には、「アゼリー塾」という勉強会がある。管理職が順に講師を務め、テーマを見つけて発表する。壁には心に残った本を書き「読書の輪」というコーナーを設置する。アゼリーグループは、介護施設に加え、専門学校や保育園・幼稚園も経営するが、各施設を見学する取り組みもある。資格取得も奨励してい

「介護業界にとって、人材定着は古くて新しいテーマだ。独自の採用・研修制度によりその問題をクリアしたのが、アゼリーグループ(東京・江戸川区)である。現国際医療福祉大学大学院・竹内孝仁教授に師事し、同グループを率いる来栖宏二理事長に、人材を「人財」に変える秘訣を聞いた。

幸せとは成功ではなく成長すること 人材を「人財」に変える秘訣

「介護業界にとって、人材定着は古くて新しいテーマだ。独自の採用・研修制度によりその問題をクリアしたのが、アゼリーグループ(東京・江戸川区)である。現国際医療福祉大学大学院・竹内孝仁教授に師事し、同グループを率いる来栖宏二理事長に、人材を「人財」に変える秘訣を聞いた。

「価値があるから少々高価でも、人気が高い。その理由を利用者や提供者の目線で観察すること、サービスとは何かを考えるいいチャンスです」

「介護業界の常識は世間の非常識」——そう痛感する来栖氏は、他業界の人の接触を奨励する。ボランティアへの参加がそれだ。たとえば東日本大震災からの復興を、中高・大学生が主役で考える「スタンド・アップ・サミット」や、元大リーグ・松井秀喜氏など各界で活躍するヒーローに小学生が出会う場を演出する会。いずれも同社が関わるイベントだが、社員が企画・運営に参画する。「それにより職員の視野が広くなり、経営・企画・運営のセンスも磨かれる。それが介護の企画にも活用されるのです」

海外出身のスタッフや車椅子の従業員を雇用することも、多様性や優しさを養う機会になった。

「幸せとは成功ではなく、成長すること」が来栖氏の理念。換言すれば成長する幸せを感じられる職場だから定着率が高いのだ。(文・西所正道)

注目のトピックス

- 異業種勢が「介護サービス」に相次ぎ参入**
 介護関連市場への異業種参入が加速してきた。ローソンではケアマネが常駐する介護拠点を併設する店舗を増やすほか、イオンはリハビリ専門ダイサービスの増設をめざし、パナソニックは介護事業を統合した新会社を設立し、在宅介護サービスの拠点増を図る。
 2016/5/17 SankeiBiz
- 16年版高齢社会白書、「まだ働きたい」71.9%**
 2016年版「高齢社会白書」によると、15年10月1日時点で65歳以上の高齢者は3392万人で、総人口に占める割合は過去最高の26.7%。60歳以上の71.9%が「まだ働きたい」との結果に。
 2016/5/20 日本経済新聞

脳のアンチエイジング

出題＝公益財団法人 日本数学検定協会

慎重に、正しい数字を入れよう

問題 まずは、練習問題。次の文章の□に入る数字を考えて、文を完成させてください。

この文の中には、
1が□個、2が□個、3が□個、4が□個 あります。

何も考えずに「1個だ」って思った方、数字を入れてから読み直してみてください。正解は、「この文の中には、1が2個、2が3個、3が2個、4が1個あります」でした。では、同じ方法で、次の文章を完成させてください。

この文の中には、
1が□個、2が□個、3が□個、4が□個、5が□個 あります。

回答

北町のスタッフ。制服はないので孫の集合写真のよう。オルゴールの音色が流れるユニットにて

自宅にいたときのよう暮らしたい。ご入居者のその思いに寄り添うために、社会福祉法人春生会の特養「あさひが丘」では、スタッフは私服姿で介護しています。木材を多用した温もりのあるユニット型の施設で行われているのは、個別ケアです。

「一斉起床、一斉就寝ではなく、その方のリズムで一日を過ごしてもらっています。ここでは朝8時に起きる方もいれば、10時という方もいらっしゃいます。朝食や昼食の時間も一定の制約はありませんが、基本は自由です」と話す原田さん。

個性を見ながら、どんなことを望んでいるのかを見つけていくことが重要です。そのために何気ない一言や様子を見逃さないよう気を配ります。「認知症になったご入居者が私の名前を忘れてしまっても、他のスタッフではなく私に何か伝えようとしてくれる。何年も一緒に過ごした絆があるのかなと思います。この仕事のやりがいを感じました」

笑顔が見たいから夢プロジェクト推進

あさひが丘には、北町、南町など名づけられた12のユニット(ショートステイを含む)があり、ユニットごとに10の完全個室とリビングやダイニングの共用スペースを配置しています。

原田さんは、日中は3階の北町、夜間は北町と東町を担当。その14人の介護スタッフのリーダーになったのは3年前です。試行錯誤を重ねながら、いい動き方ができるチームをつくってき

原田さんは、ある方がプロ野球ファンであることを発見して、年に一度、ナゴヤドームへ野球観戦に出かけているそうです。共に過ごすことが大切だから少人数で。

そんな試みを「あさひが丘」では、夢をかなえよう「プロジェクト」と呼んでいます。夢は温泉旅行や、昔よく行ったお店で食事したり、おせち料理を作ったり、孫の結婚式に参加したりと、多彩です。あさひが丘ブログには、楽しそうな笑顔があふれています。

原田信昌さん

ネピアアテンダー ケア通信 Vol.15

発行元:王子ネピア株式会社
 ケアサポート事業本部
 東京都中央区銀座5-12-8
 王子ホールディングス 1号館
 編集・制作:株式会社ジェイ・キャスト
 発行人:取締役 ケアサポート事業部長 山下千晶
 発行日:平成28年6月15日



こんにちは、ネピアです。職場のお話、聞かせてください。

自宅のように、家族のように

◎特別養護老人ホームあさひが丘(愛知県春日井市)
 介護ユニットサプリーター 原田信昌さん

「ご入居者に笑って過ごしていただくことが私たちのモットーです。お愛想ではない心からの笑顔が見たいと、日々取り組んでいます」

原田さんは、ある方がプロ野球ファンであることを発見して、年に一度、ナゴヤドームへ野球観戦に出かけているそうです。共に過ごすことが大切だから少人数で。

医療と介護を融合したサービスを

長野県長野市を中心に、医療と介護を融合したサービスを提供する社会福祉法人ハイネスライフを率いるのは、山田康裕理事長。活動の起点となった山田記念朝日病院を、王子ネピア社長の清水紀嗣が訪ねました。

山田 私共の病院は、50歳まで信州大学病院の消化器外科医をしていた父が1974年に開業しま

す。7年前にCO₂削減を意識して建て替えました。外断熱工法を取り入れ、断熱・遮熱性能を上げることで冷暖房の効率をよくしたほか、エコガラスを導入して各部屋の温度差をなくす工夫をしています。

清水 院長を継がれたのは何年前ですか？
山田 18年前です。父が健在のときに、専門が消化器外科で健康診断には力を入れていたため、人間ドック専門の外来を設けています。ただ、医療の進歩で胃潰瘍も手術しないで治せる時代になり、先を見据えて社会福祉法人ハイネスライフを設立しました。医療と介護を融合した新しい形に向けて動き出してから18年になります。

清水 北アルプスを望むロケーションに、黄色の外観——非常にインパクトがあります。病院らしくなく、温かみを感じました。長野電鉄朝陽駅から徒歩5分。交通の便もいいですね。

山田 当時、高校3年生だった私は、東京慈恵会医科大学の医学部を志望し、同大学で学ぶことになりました。卒業後は、慈恵医大病院外科に10年間、勤務しました。

山田 そうですね、私もまだ40歳。当時の長野市の高齢化率は全国平均をかなり上回る24%でした。まず特別養護老人ホームを作りました。私は素人でしたが、当時の介護士さんたちの志が非常に高く、教えられることが多く、一緒に頑張りました。

山田 N T T 日本が運営していた病院を、事業譲渡という形で引き継いだのです。改修工事とともに運営面での改革も行いました。山田記念朝日病院では急性期疾患を扱っておられますが、朝日な

山田 院長を継がれたのは何年前ですか？
清水 それはすごいなあ。経営は数字が読めないで成り立たないから、その面の努力もされたのです。居宅介護支援事業所なども開設され、山田理事長のバイタリティには感服します。3年前には、近くに朝日ながの病院を開業されました。

山田 施設でも病院でも良質のサービスを提供するために、検査機器や医療機器などは十分な投資を行っています。いいものを使っています。ソフト面では、利用される方がラクできることが大

山田 高山村では、その後、温泉リハビリテーションセンターやグループホーム、小規模特養などを展開しています。長野市内では、ホスピスケアのできる施設を作りました。地域の方たちのご要望にお応えしたいと、資金のない中、知恵を絞ってやってきました。

山田 医療と介護は、高齢社会では切り離せないものです。病院から施設へ、施設から病院へという橋渡しができる環境が、長野市や高山村の方向は安心ですね。

王子ネピア株式会社代表取締役社長 清水 紀嗣

清水 理事長の哲学ですね。今後のご発展を確信しております。ネピアも皆さまにご満足いただける品質とサービスを追求していきます。

山田 実には、長野県は、全国でいちばん降水量が少なく、湿度が低いから、高齢者には住みやすい環境といえます。隣の高山村は、善光寺平(長野盆地)が一望できる扇状地で特産のリンゴやブドウが栽培されています。

山田 施設でも病院でも良質のサービスを提供するために、検査機器や医療機器などは十分な投資を行っています。いいものを使っています。ソフト面では、利用される方がラクできることが大

テnderサポート便り vol.6

高齢者の熱中症について

熱中症は、乳児から高齢者まで、年代を問わずかかる病気ですが、病院へ救急搬送される患者の多くは、室内で熱中症にかかった高齢者です。

消防庁のデータによると、平成24年7～9月に熱中症で救急搬送された人は、全国で4万3864人。このうち45%に当たる1万9848人が65歳以上でした。

なぜ高齢者は熱中症になりやすいのでしょうか？ その理由は、主に4つあるといわれています。

1つ目は、体温調節機能の低下です。汗は体温を下げる作用がありますが、高齢になるにつれ、汗をかきにくくなるため、体内に熱がこもりがちになります。


2つ目は、体内の水分量と水分摂取量が少ないことです。一般に、成人の体内水分量は体重の60%程度ですが、高齢になると50～55%に減少します。また、のどが渇きにくいことに加え、トイレが近くなるのが心配で、水分摂取を控えてしまう傾向があり、脱水症を起こしやすいのです。

3つ目は、暑さを感じにくいことです。人は加齢とともに知覚が鈍くなり、暑さや寒さを感じにくくなります。暑さを感じな

くても、高温多湿や無風の環境下にいれば、体温は上昇し、体内の水分も失われていきます。

4つ目は、持病を抱えている人が多いことです。病気で体力が衰えている人が熱中症にかかると、健康な人に比べて重症化しやすいです。

高齢者の熱中症は自覚症状が出にくいので、気づいたときには重症化していたというケースも少なくありません。日頃から快適な環境を保ち、体調管理に気をつけて熱中症を予防しましょう。

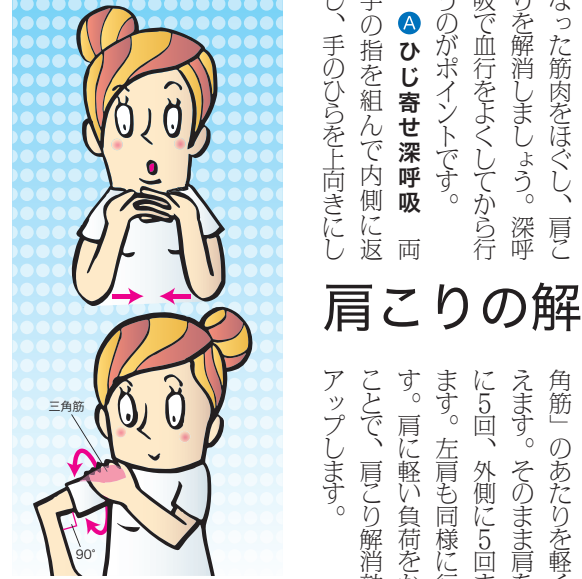


牧野流 プチヨガ

肩の周りには小さくても筋肉があります。硬くなった筋肉をほぐし、肩こりを解消しましょう。深呼吸で血行をよくしてから行うのがポイントです。

A ひじ寄せ深呼吸 両手の指を組んで内側に返し、手のひらを上向きにし

B 肩まわし 右ひじを90度曲げ、左手で右肩の「三角筋」のあたりを軽く押さえます。そのまま肩を内側に5回、外側に5回まわします。左肩も同様に行います。肩に軽い負荷をかけることで、肩こり解消効果がアップします。



肩こりの解消に

監修: 牧野修玄 (ヨガ・瞑想・ボディコンディショニング講師)

さいたま支店誕生!

ケアサポート事業本部 さいたま支店

この度、さいたま営業所と高崎営業所が統合し、首都圏の5県を担当するさいたま支店となりました。プランナーによるデータに基づくご提案、カウンセラーによる細やかなフォローに一層磨きをかけ、担当エリアを全力でフォローさせていただきます。ぜひ私たちに一声お掛けください。今後ともよろしくお願いたします。

